



JHNFA News

日・健・栄・協 ニュース

8月号

理事長就任のご挨拶

理事長就任にあたり、協会事業計画の一端に触れご挨拶とさせていただきます。

現在、健康の保持・増進への期待感から「健康食品」の使用が増加していますが、一方、「健康食品」による健康被害を防止するための対策も拡大・強化されつつあります。これら両面の動きから判断すると、「健康食品」についての不可欠な課題は、人々が「健康食品」を正しく選択し、適切に利用できる社会環境を整備することといえます。

協会は、この基本問題への取り組みを軸に会員企業の健全な発展に協力します。

協会の主要な事業であるJHFAマークの認定は、確かな「健康食品」であることの証しの提供を目的としています。現在、証しの信頼性と価値を高めるために、認定の根拠となる基準について、安全性、有効性および品質基準の立場から幅広い改正を計画しています。

アガリクス、大豆イソフラボン、ジアシルグリセロール、コエンザイムQ10の安全性問題が食品安全委員会などで取り上げられました。安全性評価の科学的視点は物質ごとに



異なりますが、上記4事例についての議論を通覧すると、いずれにおいても毒性学分野における新しい研究知見が「健康食品」の研究・開発の現場に正しく反映されていなかったように感じられます。その意味で関連学会や国際会議での成果を会員企業の事業に導入するための仕組みづくりも協会の使命と理解しています。

表示の見直しは、「健康食品」の正しい選択と利用への有用性の立場から考えられるべきです。例えば、消費者にとっては、規制についての表示よりも、健康増進に関する科学的な内容を加えた表示の方が役に立ちます。その意味で、表示については科学的妥当性、遵法ならびに国際動向を基盤とした行政との意見交換がさらに必要となります。その他、食品保健指導士の養成、学術誌の編集方針など様々な課題があり、いずれも着実に迅速な対応が求められています。問題の解決と協会の発展に向けて皆様方の絶大な御支援をお願い申し上げます。

林 裕造

CONTENTS

- 理事長就任のご挨拶 1
- 厚生労働省による「大豆イソフラボンの取扱い(案)」に対し、当協会大豆イソフラボン加工食品作業部会からパブリックコメントを提出 2
- コエンザイムQ10の安全性評価(案)に対し、当協会専門部会がパブリックコメントを提出 2
- GMP自主基準改訂に関する調査員による意見交換会開催 2
- 「特保申請担当者講習会」を開催 3
- 「特定保健用食品講習会」開催のご案内 4
- トクホセミナー開催 5

各部の活動状況

健康食品部

- 第21回素材勉強会のテーマは「ナットウ菌培養エキス」 6
- 適否審査委員会 6
- JHFAマーク表示 新規許可製品 6

特定保健用食品部

- 特定保健用食品9月末申請期限の申請予定品目の協会調査について 6
- 協会チェック 6

- 部会活動状況 6

栄養食品部

- メディカルフーズ(仮称)研究会開催 7
- 特別用途食品表示許可一覧表(品目別)送付について 7

- ・学術論文セミナー「ヒト試験・統計解析について」開催のご案内 3

- ・JHFAマークキャッチコピー最優秀賞の表彰 3

- ・食品保健指導士活動支援について -講師として派遣- 4

- ・学術誌『健康・栄養食品研究』への論文投稿について 4

- ・健康・栄養食品CRO連絡会情報 5

- ・特定保健用食品表示許可 7

- ・特定保健用食品表示許可品目などに関わる審査状況 7

- ・協会職員の人事異動 8

- ・入会・変更など 8

- ・会員名簿記載事項の変更届について 8

- ・会員数 8

- ・「食品保健指導士」の養成講習会 第20期のご案内 8